

本補正予算の概要

本補正予算（第5号）は、歳入歳出予算補正で構成、本歳入歳出補正予算の特徴点としては、

- (1) 新型コロナウイルス感染症 緊急対応の3つの柱の取組
 - (ア) 感染症拡大防止に向けた取組
 - ①PCR検査事業費 ②医療体制整備支援費 ③感染症対策備蓄品の確保
 - ④小・中学校における感染症対策費 ⑤子ども食堂への支援費
 - ⑥清掃従事者への支援費 ⑦保育施設、学童クラブ、幼稚園等の従事者への支援費
 - (イ) 市民生活支援及び子どもたちへの支援
 - ①児童・生徒の1人1台のタブレット整備 ②生活困窮者支援（住居確保給付金の増額）
 - ③修学旅行、学校給食食材費のキャンセル料負担 ④収入減少に伴う指定管理料の増額
 - (ウ) 地域経済への支援
 - ①売上の減少した市内事業所への家賃補助 ②スクラッチカード事業の拡充
- (2) 市内事業者受注機会確保につなげる工事等の実施
- (3) 国・都補助金、寄附金を活用した事業の実施
- (4) 前年度繰越金活用計画に基づく財政基盤の強化（基金積立て）

口歳入歳出予算補正 補正予算規模 **28億8100万円余**
 令和2年度当初予算 929億9000万円 → **第5号補正後予算 1239億2100万円余**

(1) 新型コロナウイルス感染症 緊急対応の取組 計 9億5400万円余

- (ア) 感染症拡大防止に向けた取組
 - ①PCR検査事業費 7600万円余（国地方創生臨時交付金を活用）
 - ★PCRセンター運営委託料 ★福祉施設等におけるPCR検査の実施
 - ②医療体制整備支援費 3800万円余（新型コロナウイルス感染症対策基金を活用）
 - ★発熱者外来実施の医療機関助成 ★入院体制整備の医療機関助成 ★PCR検査実施の医療機関助成
 - ③新型コロナウイルス感染症対策備蓄品の確保 800万円余（国地方創生臨時交付金を活用）
 - ④小・中学校における感染症対策支援用備品購入 4000万円（国・都補助金3/4）
 - ⑤子ども食堂への支援 1700万円（都補助金10/10）
 - ⑥清掃従事者への支援 290万円余（国地方創生臨時交付金を活用）
 - 衛生用品等の購入費支援、従事者1人5000円の市内商品券配付（約180人）
 - ⑦保育施設、学童クラブ、幼稚園等の従事者への支援 1700万円余（国地方創生臨時交付金を活用）
 - 1人5000円の市内商品券配付、約3300人
- (イ) 市民生活支援及び子どもたちへの支援
 - ①市立小・中学校児童・生徒の1人1台のタブレット運用費 1億8000万円余（国臨時交付金等活用）
 - ②生活困窮者の方への支援（住居確保給付金の増額）1億3800万円（国補助金3/4、国臨時交付金）
 - ③中学校修学旅行（900万円余）、学校給食の食材費（500万円余）のキャンセル料負担
 - ④収入減少に伴う指定管理料の増額（あくろす、ふれあいの家、ハヶ岳少年自然の家）1400万円余
- (ウ) 地域経済への支援【資料3-1】
 - ①売上の減少した市内事業所への家賃支援 3億500万円余（国地方創生臨時交付金を活用）
 - 5月～12月の連続する2か月の合計の売上が前年同月比20%以上50%未満減少した中小企業等（国制度の対象外） 支払賃料×1/5、6か月最大45万円（7.5万円×6か月）の家賃支援
 - ②スクラッチカード事業の拡充 1億円（国地方創生臨時交付金を活用） 当初予算1500万円に追加発行枚数40万枚、当選総額1億800万円、500円の当たり券21万6000枚（当選確率54%）

(2) 市内事業者受注機会確保につなげる工事等の実施 計 2100万円余

★自転車駐車場等整備工事費 800万円余 ★公遊園整備工事費 1200万円余

(3) 国・都補助金、寄附金を活用した事業の実施 計 3200万円余

★映画のまち調布推進事業 1900万円余（国補助金10/10）★空き家対策事業 1000万円（都補助金10/10）
 ★自転車保険加入促進事業 30万円余（都補助金1/2）★保育園・小学校備品購入 200万円（寄附金10/10）

(4) 前年度繰越金活用計画に基づく財政基盤の強化（基金積立て） 計 18億6800万円余

＜繰越金活用計画分＞ 計 18億6400万円余
 財政調整基金 10億円、公共施設整備基金 6億5400万円余、
 ふるさとのみどりと環境を守り育てる基金 5000万円、都市基盤整備事業基金 1億6000万円余
 ＜寄附金等＞ 計 430万円余 新型コロナウイルス感染症対策基金 300万円余ほか4基金